

## 带状疱疹の予防 しませんか？

### 1：带状疱疹とは

带状疱疹は、体内の水痘・带状疱疹ウイルスが、再び活性化することによって発症します。ほとんどの場合は、幼少期に水痘・带状疱疹ウイルスに初めて感染することで、水痘(水ぼうそう)として発症します。しかし、水痘が治った後もウイルスは神経節に潜んでいます。普段は体の免疫力によって活動が抑えられているウイルスですが、免疫力が低下すると再び活動しはじめます。ウイルスが神経節から皮膚へと移動することで、带状疱疹を発症します。

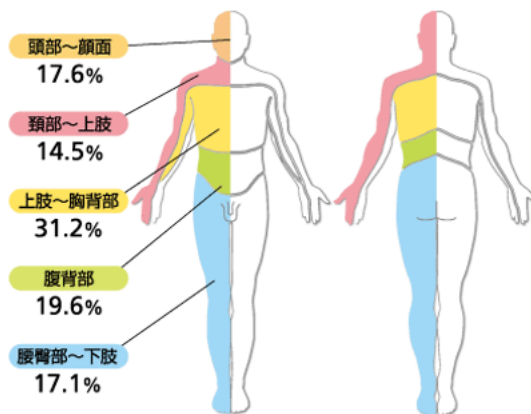
带状疱疹の症状には個人差がありますが、発症すると体の片側に水ぶくれを伴う赤い発疹が帯状に広がるのが特徴です。ピリピリ、ズキズキといった強い痛みを伴うことが多く、3～4週間ほど続きます。神経の流れに沿って現れるため、带状疱疹が出現する部位は上半身が多いです(図1)。治療し、皮膚症状が治った後も、带状疱疹後神経痛(PHN)と呼ばれる、長期間に渡る痛みが続くことがあります。

年代別の発症率(図2)からも、带状疱疹の発症は50代以上に多く、加齢に伴って発症率は上昇します。80歳までには3人に1人が带状疱疹になると言われています。

### 2：治療薬について

带状疱疹の治療には、抗ウイルス薬(アシクロビル、バラシクロビル、ファムシクロビル、アメナメビル)を使用し、原因となるウイルスが増殖することを抑えます。効果が出るまでに2日程度かかるため、早めに内服を開始することが重要です。

带状疱疹の痛みに対しては、鎮痛薬を使用します。基本的には飲み薬で、痛みが強い場合には注射薬が使われることもあります。また、皮膚の保護や、細菌感染の予防、皮膚の再生を促すために塗り薬を使用することもあります。



石川博康ら：日皮会誌, 113(8), 1229 (2003) 改変

図1 带状疱疹出現部位

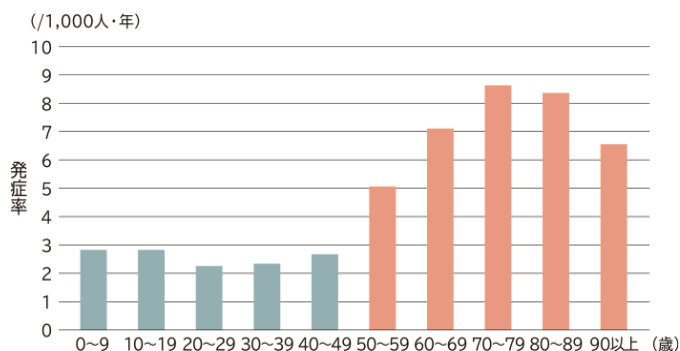




図2 年代別発症率

### 3：帯状疱疹の予防方法 ～ワクチン～

日常生活で体調管理を行うことに加え、ワクチンを打つことで予防効果をさらに高めることができます。帯状疱疹予防として接種が推奨されるのは、現在 50 歳以上で水痘にかかったことのある方、帯状疱疹にかかったことのある方です。水痘にかかったことのない方は、体内に水痘・帯状疱疹ウイルスが潜伏することがないため、帯状疱疹予防としてのワクチン接種は必要ありません。帯状疱疹予防ワクチンには下記の 2 種類があり、いずれのワクチンも 50 歳以上の方が接種対象となっています。

表 1 ワクチンの比較

ワクチン名	乾燥弱毒生水痘ワクチン 	帯状疱疹ワクチン(シングリックス®) 
種類	生ワクチン (病原体となるウイルスや細菌の毒性を弱めて病原性を弱くしたもの)	不活化ワクチン (病原体となるウイルスや細菌を殺菌もしくは不活化して感染力を無くしたもの)
接種区分	定期接種(1-3 歳未満:水痘予防) または任意接種(上記以外の年齢)	任意接種
接種回数	1 回	2 回
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
予防効果	50~70%(年齢によるばらつきあり)	97.2%
持続期間	3~11 年(個人差あり)	9 年
副反応	接種部位の疼痛、発赤、腫脹など	特に接種部位の筋肉痛、発赤、腫脹など
費用 (1 回あたり)	約 8,000 円	約 20,000 円
	※自治体により費用の助成の有無、助成額が異なります。 詳しくはお住まいの自治体へお問い合わせください。	
長所	・ 1 回きりの接種で良い ・ 安価	・ 免疫機能が低下している方も接種可能 ・ 安定した持続期間 ・ 高い予防効果
短所	・ 免疫機能が低下している方は接種不可能 ・ 持続期間が短い場合もある	・ 2 回接種が必要 ・ 高価

★当院付属クリニックでも接種が可能です。接種を希望される際は、医師へご相談ください。

参考資料：帯状疱疹.jp、シングリックス 医療関係者向け情報 GSKpro、予防接種に関する Q&A、帯状疱疹って？ マルホ株式会社、帯状疱疹や帯状疱疹ワクチン【弱毒水痘ワクチン・シングリックス】について、NIID 国立感染症研究所 帯状疱疹ワクチンの導入について、*Hum Vaccin Immunother* 2018;14(6):1370-1377、*N Engl J Med* 2015;372(22):2087-2096

文責：村田悠貴(実習生)、戸田汐音